

5. 本時の目標

明の長所を見つけたやす子的心情の変化を考えることを通して、友だちの特徴を知り、それを認め伸ばしていこうとする心情を育てる。

6. 本時の展開

学 習 活 動	指 導 の 視 点
<p>1. となりの席の友だちの特徴をとらえて作文を書こうとしたら、どんなことを書きますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちに良いところを書く。 ・ その友だちのことで一番印象に残っていることを書く。 <p>2. 資料「明の長所」を読んで話し合う。</p> <p>(1) どうして、やす子は「あばれんぼうの明」「ふざけ好きの明」として作文を書く気にはなれなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暴れてもふざけても憎めないから。 ・ 明らしい特徴を浮き彫りにしたかったから。 <p>(2) 「ドッジボールの思い出」と「先生に注意されたときの思い出」から、やす子は明に対してどんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ドッジボールの思い出」から、普段は暴れん坊の明だけれど、転んだ子の気持ちも考えていると思った。優しいと感じた。 ・ 「先生に注意されたときの思い出」から、明は私をかばってくれたから優しい。正直だ。私は、自分から言い出せないで情けない。 <p>(3) どうして、やす子は作文を書く意欲がわいてきたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私だけが知っている明のよいところをみんなに知ってほしい。 ・ 明の良さに気付くことができ嬉しくなった。 ・ 暴れん坊だけではない姿を明に知らせて、長所に気付いてほしい。 <p>(4) どうして、やす子は明に「長所を気づいてもらいたい」「明らしさをもち続けてほしい」と思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明の長所を大切にしてほしいと思ったから。 ・ その長所を伸ばしてほしいと思ったから。 <p>3. 本時の学習から、未来そうぞう科の活動や日々の生活につなげていける点について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの活動では見つけられなかった友だちの長所があるはずだから、それをたくさん見つけたい。 ・ 普段の生活で当たり前と思っていることの中にも、友だちの長所があるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃の経験や未来そうぞう科の学習と関連させながら、自分が友だちの特徴を書くとするばと想定して考えられるようにする。 ○ 表面的にしか捉えていなかった明の特徴ではなく、内面的な明の特徴に気づこうとするやす子の気持ちに迫ることができるようにする。 ○ 普段の明とは違う印象を抱いたやす子の気持ちを捉えるようにする。 ○ 明と自分の行動と比較して、明の長所を気づくことができたやす子の気持ちを考えるようにする。 ○ 明の内面的な特徴を見つけ出したことに気づき、その時のやす子の気持ちを考えられるようにする。 ○ やす子の明への気持ちを考えることを通して、友だちの良さを伸ばしていこうとすることの素晴らしさに気付くようにする。 ○ 未来そうぞう科の活動や日々の生活と関連づけて、自分の姿と重ねて考えられるようにする。 ○ 友だちの良さを認め合い、伸ばしていこうとする意欲をもつようにする。

【参考文献】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』, 2017年